



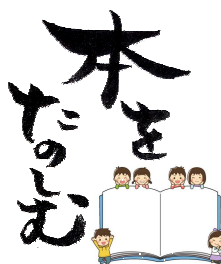
宝塚市立売布小学校 学校長 藤山 昌生

子どもたちが楽しみにしている運動会が、いよいよ目の前となりました。先週から、台風2号や梅雨前線の影響等で、毎日天気予報や雨雲レーダーを確認しながら、仕上げの練習を進めています。



スクリレにてお知らせいたしました通り、5月31日(水)に日程を1日繰り上げ、運動会リハーサルを実施いたしました。途中、ぽつぽつと雨粒を感じる時間帯もありましたが、無事最後までリハーサルを終えることができました。リハーサルでは、二部制の実施のため当日に見ることができない他学年の表現運動も、全学年でお互いに見合うことができました。自分自身がしっかりと頑張れたことは、子どもたちの表情からもそのことがはっきりと分かりました。また、6年生、5年生は、運動会運営にも携わっており、きびきびと動く様子が印象的でした。子どもたち一人一人が目標をもって一生懸命取り組んでいますので、今回のリハーサルを踏まえて、新たな課題も分かっています。運動会当日には、保護者のみなさまのあたたかい声援や応援で、さらに子どもたちの頑張りも増すことと思いますので、よろしくお願いいたします。

週末までの天候はまだまだ心配なところもありますが、熱中症等にも十分に気を付けながら、充実した運動会となるように進めてまいります。



売布小学校では、6月12日～16日に、春の読書週間を予定しています。私は以前、芦田愛菜さんが書かれた、『まなの本棚』(小学館, 2019)という本を読みました。今まさに子どもたちが手に取って読んでみてほしい絵本や本も、様々なテーマに沿って数多く紹介されています。図鑑をテーマに書かれているところでは、何かに興味を持つともっと詳しく知りたくなると図鑑を手に取り、熱心に読んだそうです。図鑑や辞書も手元にあると、読書という感覚はなく自然に没頭できると思います。

芦田さんは本の中で読書の魅力について、「ページに並んだ活字から自分の想像で物語の世界を作り上げていく楽しさ」「自分以外の誰かの考え方や人生を知る『疑似体験』」と書いておられます。子どもたちには、本を読むことで、その世界観を頭の中で構成できる想像力や読解力、言葉の意味を知り活用する力など、大切な力をつけてほしいと思います。

ぜひこの機会に、子どもたちと一緒に家族みんなで読書をする日といったような、「メディアコントロールデー」を設定してみたいはいかがでしょうか。日常、当たり前になっているテレビやDVDの視聴、ゲーム、タブレットやスマートフォンから離れて、活字の世界に入り込みませんか。そして、その話題を家族で共有してみると、新たな発見があるかもしれませんね。まずはできるところから、無理をせずはじめてみてはどうでしょうか。